

令和5年度 第2回 犬山市地域公共交通会議 議事要旨

日時：令和5年8月28日（月）午後2時～

場所：犬山市役所 2階 201・202 会議室

出席者：19名中18名

1 開会

【事務局】 開会の挨拶を行う。

2 あいさつ

【磯部会長】 挨拶を行う。

【事務局】 委員の交代について説明。犬山市地域公共交通会議の委員数19名に対し本日は18名が出席で、過半数をこえているため、本日の会議が成立していることを宣言する。傍聴者（4名参加）について、説明を行う。また、代理出席、配布資料について説明を行う。協議事項の質疑応答のため、名鉄バス、犬山市観光課、国際開発コンサルタントの出席を報告する。

3 議事

【磯部会長】 議事要旨の署名に、森岡委員、安藤（和）委員を指名する。

（1）協議事項

①紅葉ルートバスについて

【事務局】 資料1の説明を行う。

【早川委員】 寂光院の停留所でバックをすると聞いているが、安全対策はどうなっているか。

【名鉄バス】 寂光院駐車場を利用するが、前進進入して転回できないため、バックして駐車場に進入し、前進して出発する。乗務員は名鉄バスの安全規定に基づき、後方確認、バックモニターの確認、窓を開けての後方確認に加えて、係員2名を配置してバスの後退誘導と利用者の安全確保を図る。これまでこのバス停で事故などは発生していない。

【本田委員】 路線バスは、基本的にバックは控えてほしいが、しっかりと安全対策をして事故のないように努めてほしい。

【磯部会長】 協議運賃ということだが、運行経費との差額の負担はどうなっているか。

【観光課】 1乗車100円、往復200円となっており、わん丸君バスの運賃を基準としている。差額は市の観光課の予算から支出することになる。

【磯部会長】 他に意見がないようであれば、承認ということよろしいか。

【委員】 異議なし。

②「あいち県民の日」に伴うわん丸君バスの無料乗車について

- 【事務局】 資料2の説明を行う。
- 【松浦委員】 対象者は小中学生とその付添人としているが、判断できるか。
- 【事務局】 利用者全員無料も検討したが、今回は小中学生と一緒に乗ってくるグループを対象としたいと考えている。当日は、犬山市内の小中学校は休みだが、高校は通常通り授業があるため、小中学生かどうかの判断は不要と考えている。来年度も継続する場合には、今回の結果を踏まえて改善していく。
- 【松浦委員】 愛知県内で同じようにバス無料にする市町村はあるのか。
- 【事務局】 コミュニティバスを無料にする自治体はないと聞いている。
- 【磯部会長】 小中学校が休みであることも含めて、市民にしっかりと周知することが大切。
- 【森岡委員】 小中学生は学生証を見せて乗車するようにしたらどうか。
- 【磯部会長】 小中学生ではなく、次に乗ってくる大人が付添人なのかどうか分からないので、その判断ができるとよいが、難しい。
- 【事務局】 実際の運行に当たっては、あおい交通と内容を詰めていきたい。
- 【吉野委員】 広報だけでなく、学校や各種施設に案内ポスターを掲示するなどして子供たちに周知してほしい。
- 【磯部会長】 他に意見がないようであれば、承認ということでよろしいか。
- 【委員】 異議なし。

③地域公共交通計画（案）の策定について

- 【事務局】 資料3の説明を行う。
- 【安藤（和）委員】 市として、交通不便地域を明示して、不便地域をどう解消していくかが重要。交通手段の組み合わせ方を今後協議していく必要がある。
- 【事務局】 P53, 54に公共交通ネットワークを掲載しており、交通空白地区を具体的に解決する方策までには至っていないが、公共交通全体としての今後の方針を示している。
- 【磯部会長】 ネットワークをさらに細かく、面的にカバーしていくような考え方で、今後議論していかなければいけない。立地適正化計画との関係はどうなっているのか。
- 【事務局】 立地適正化計画も現在策定中なので案になるが、公共交通の方針が明記されるため、整合するように進めていく。
- 【磯部会長】 P53に公共交通ネットワークが表されているが、計画策定後に各路線の役割が変わったり、新たに追加されたりする可能性もあるので、その際にはまた検討していく必要がある。
- 【安藤（和）委員】 立地適正化計画の「自動車に頼らなくてもよいまち」は実際には難しいと思う。すべてを公共交通で賄うことはできないので、市として必要最小限の移動手段を確保していく、ということを示す必要があるのではないかと。
- 【事務局】 現在、わん丸君バスの運行には年間7千万かかっており、さらに負担を増やしていくというのは難しい。費用面も踏まえてニーズに応えていく必要がある。
- 【本田委員】 施策②に、運転手不足の解消について具体的に施策を記載しているが、市に關係の部署があるのか。また、ハローワークとの連携はどうか。

- 【武内副会長】 コロナをきっかけに、犬山市独自で就職説明会を実施しており、ハローワークや愛知県、商工会議所とも連携して就職フェアを行っている。
- 【安藤（和）委員】 P16 の観光入込客数について、令和4年は回復していると思うので、データを追加したらどうか。観光庁、犬山市観光協会、タクシー協会がタイアップして、（仮）犬山キャスルリムジンという名称で、セントレア～名古屋駅～犬山、犬山～高山を結ぶ、インバウンド誘致を目的とした企画を検討している。犬山市は観光資源が豊富なので、タクシー協会と一緒に盛り上げていきたい。
- 【磯部会長】 観光についても P24 のタクシー料金助成のコラムのような形で記載してはどうか。
- 【事務局】 観光は犬山市の特徴と考えているので、観光に関する交通の取り組みの追記を検討する。
- 【磯部会長】 ここまでの議論を踏まえて、事務局で再整理するという事で承認してよろしいか。
- 【委員】 異議なし。

（2）報告事項

- ①わん丸君バス再編の進捗状況について
- 【事務局】 進捗状況の報告を行う。
- ②その他
- 【安藤（裕）委員】 総合犬山中央病院の建て替え工事について、材料や人件費の価格高騰のため、当初の予定より時期を1年間延期することになった。来年の秋に着工し、2028年冬にグランドオープン予定となる。
- 【事務局】 バスルートの変更は必要になるか。
- 【安藤（裕）委員】 今のところ、現在の南出入りのままで計画している。
- 【磯部会長】 以上をもって本日の議事を終了する。
- 【事務局】 閉会の挨拶を行う。次回会議の案内をする。
令和5年12月22日（金）14:00～実施する。

以上

本書は、令和5年8月28日に開催された犬山市地域公共交通会議の議事要旨に相違ないことを証する。

令和5年9月22日

署名人 安藤 和人

署名人 森岡 万朱衣